



# あんぜん プロジェクト

あんぜんプロジェクトは  
労働災害のない日本を目指して  
働く方の安全に一生懸命に取り組み  
「働く人」、「企業」、「家族」が  
元気になる職場を創るプロジェクトです！



プロジェクトメンバー  
(参加企業) を募集しています。

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

サイトで募集中。メールで参加申請できます。



参加企業には、  
あんぜんプロジェクトと  
転倒災害プロジェクトとの  
コラボステッカーを  
プレゼント！

自社ホームページを開設していない場合でも  
プロジェクト参加が可能です！

「あんぜんプロジェクト」  
ホームページ上で  
『「見える」安全活動コンクール」  
を実施します。

募集期間

(P.3 参照)

令和2年

令和2年

8月3日～9月30日まで

優れた安全活動事例を募集しています。

## 安全は企業の礎です。

働く人の安全と健康を確保することは事業者の責務ですが、そのためには、企業とそこで働く  
方々の創意と工夫による不断の努力が不可欠です。また、安全への取組は、働く人の能力向上、  
企業の生産性向上、ご家族の安心やワークライフバランスの実現にも良い影響を与えます。  
さらには、消費者の皆様に良質な製品やサービスを提供することにつながるものです。

あんぜんプロジェクトは、働く方の安全に一生懸命に  
取り組んでいる企業を応援しています！

参加手続きについてのお問い合わせ

参加手続き申請窓口(富士通株式会社)

電話：03-5962-3138

e-mail: contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com

あんぜんプロジェクトについてのお問い合わせ

あんぜんプロジェクト事務局

(厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課)

電話：03-3595-3225

※あんぜんプロジェクトの参加手続きに係る事務は、「職場の安全衛生情報の周知・啓発事業」の委託契約を厚生労働省と締結した富士通株式会社が実施しています。

# あんぜんプロジェクト FAQ

## 1 プロジェクトに参加するとどうなるのでしょうか？

- ①自社の安全活動の状況、労働災害の発生状況等をホームページで公開していただきます。
- ②「あんぜんプロジェクト」ホームページでは、プロジェクトメンバーの企業名等を公表し、該当ページにプロジェクトメンバーのホームページリンクを掲載いたします。

※ホームページのレイアウトは、事務局により、事前の通知なく改訂される場合がありますので、予めご承知ください。

## 2 プロジェクトに参加資格はあるのでしょうか？

以下の(1)～(3)が参加資格となります。

- (1) 働く方の安全に一生懸命に取り組んでいる事業場・企業または企業グループであること。
- (2) 事業場・企業または企業グループでの安全活動の状況、労働災害の発生状況等をホームページで公開していること（企業のCSR報告書の一部でもかまいません。）。
- (3) 労働保険に加入していること。

## 3 申込みするための手続きを教えてください。

次のURL (<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/registration/index.html>) から申請書（エクセル）をダウンロードし、必要事項を記入の上、参加手続き申請窓口まで送付してください。

【e-mail : [contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com](mailto:contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com)】

申請書の内容を事務局で確認した後、掲載予定日をご連絡いたします。

※申請書の記載等から「あんぜんプロジェクト」の趣旨に反することが明らかであると認められる場合には、参加が承認されないこともあります。

## 4 プロジェクトに加入するとお金がかかるのでしょうか？

無料です。その後の会費等も一切不要です。

## 5 プロジェクトに入るとどんなメリットがあるのでしょうか？

### あんぜんプロジェクトにご参加いただくと…

あんぜんプロジェクト公式ロゴマークの名刺への掲示、企業HPへの掲載、ロゴステッカー、ロゴバッジなどとして使用することができ、自社の安全対策に積極的に取り組んでいる企業であることを広く世の中にアピールすることができます。



## 6 自社ホームページを開設していなくともプロジェクト参加は可能でしょうか？

可能です。自社ホームページを開設していない企業が、プロジェクトメンバーの申請を行えるように、安全方針、安全活動の具体例、労働災害発生状況等を公開するための専用ページを立ち上げております。

※専用ページの使用を希望される場合は、「あんぜんプロジェクト参加申請書」とともに「専用ページ使用申請書」を事務局にご提出ください。

※以上の他、あんぜんプロジェクトの詳細については、以下のURLからホームページをご覧ください。

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/registration/index.html>



## 令和2年度「見える」安全活動コンクール

# 『見える』安全活動事例を募集します

募集期間：令和2年8月3日～令和2年9月30日

投票期間：令和2年11月2日～令和2年12月31日

結果発表：令和3年2月下旬

募集専用ページはこちら➡



### コンクールの趣旨・目的

厚生労働省は、企業・事業場における安全活動の活性化を図るため、「見える」安全活動コンクールを開催します。企業・事業場で実施されている労働災害防止のための「見える」安全活動の創意工夫事例を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

ご応募いただいた事例は、あんぜんプロジェクトホームページに掲載し、広く国民に紹介させていただきます。また、ホームページをご覧になった方からの投票、意見を募集し、後日、結果発表を行います。

### 『見える』安全活動事例とは

職場における危険性、有害性について、通常視覚的に捉えられないものがあります。それらを可視化（見える化）すること、また、それを活用することによる効果的な安全活動を「見える」安全活動といいます。

### 募集概要

令和2年度「見える」安全活動コンクールでは、第13次労働災害防止計画において、転倒災害・腰痛防止対策、高年齢労働者や外国人労働者、非正規雇用労働者の労働災害防止対策、熱中症予防対策、メンタルヘルス対策、化学物質対策、そして運動実践を通じた労働者の健康増進に重点的に取り組むこととされていることを踏まえ、以下の8つの「見える化」の類型別に募集を行います。

- I. 転倒災害及び腰痛を防ぐための「見える化」
- II. 高年齢労働者の特性等に配慮した労働災害防止の「見える化」
- III. 外国人労働者、非正規雇用労働者の労働災害を防止するための「見える化」
- IV. 熱中症を予防するための「見える化」
- V. メンタルヘルス不調を予防するための「見える化」
- VI. 化学物質による危険有害性の「見える化」
- VII. 通勤、仕事中的健康づくりや運動の「見える化」
- VIII. その他の危険有害性情報の「見える化」

詳細は上記募集専用ページを参照してください。

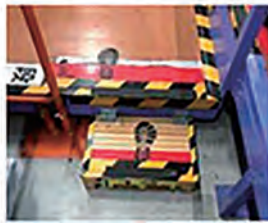
また、特に中小規模企業における安全活動を活性化することが重要であることから、これら中小規模の企業等における活動の積極的なご応募をお待ちしています。



## 「見える」安全活動の例

### 事例① 転倒災害及び腰痛を防ぐための「見える化」

#### ハザードマップからの改善



歩くべき箇所を  
「見える化」



段差の高さを「見  
える化」

#### 『転倒リスク高』者の見える化、 及び個別指導による身体づくり

転倒スコアを使って、リスク高者を見る化。作業療法士による個別指導実施。

体組成計と身体機能評価表を組み合わせるパフォーマンスをアセスメント。事前実施の転倒スコアも加味して、個別の運動指導を実施。

【PR内容】 作業環境の改善も実施しており、転倒事故撲滅に向けて活動実施中。5Sの徹底、ハザードマップの作成、様々な見える化活動を実施。この取り組みを開始して以降、転倒事故はゼロ件を継続。(2018/10～)

企業名：ASKUL LOGIST株式会社  
業種：その他の事業

### 事例② 高齢労働者の特性に配慮した労働災害の「見える化」

#### 場内危険の見える化 ～労(老)災マップと労(老)災予防情報～

55歳以上の高齢労働者を対象にした過去5年間の当社の労働災害事例を統計し、グラフ化している。それを元に、当作業所で当てはまる危険をピックアップし、事例を示すとともに、マップでどの個所に危険が潜んでいるかを写真付きで分かりやすく明示している。当作業所の高齢労働者の方々に集まっていただき、内容を説明し、危険を再認識していただいている。

【PR内容】 内容を説明させていただく際には、それぞれが普段感じている危険力所の意見交換もあり、今後の安全整備の参考になっている。

企業名：株式会社竹中工務店 東北支店  
業種：建設業



### 事例③ その他の危険有害性情報の「見える化」



#### 工事現場における安全情報共有化の手段構築

危険予知(KY)スキル向上を目的として、現場作業時に必要な情報(過去の災害事例・リスク事例・関係法令・企業内固有情報等)をスマホ等で入手できる環境整備を行った。

【PR内容】 業種別に登録できるアプリシステム構成としている

企業名：新東工業株式会社  
業種：製造業

※その他の優良な活動事例につきましては、下記URLを参照してください。

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/2019/result.html>

